



since 1986

# 健康と温泉フォーラム第98回月例研究会 (ONLINEライブ形式)

シリーズ「コロナ新時代の温泉ウエルネスの期待と展望」

第2部「増富温泉の事例研究から学べた温泉ウエルネスの可能性と課題」

-ONSEN-Wellness for Tourism and Health Market in the era of COVID19 Pandemic-

- 主催：特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム  
共催：一般財団法人日本健康開発財団 特定非営利活動法人日本スパ振興協会  
地域活性学会
- 日時：2021年 4月22日(木) 14:00~16:00 スタンバイ1345~
- ZOOMライブ形式：お申し込み受け付け後、聴講に必要なデータを指定メールアドレスにお送りします。
- 参加費：会員・一般 無料
- 申し込み締め切り日：令和3年4月18日(日) 先着60名(定員なり次第締め切ります)
- 司会 栗原茂夫(フォーラム常任理事)      テクニカル      サポート      坂本誠(フォーラム専門委員)
- プログラム(予定)

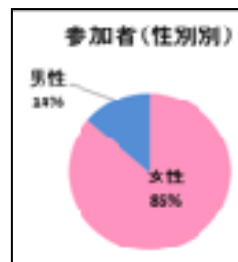
14:00-15:30

- ①プレゼンテーション 1 「増富温泉のウエルネス体験プログラムからの研究報告」  
KAY武居(国際美容アロマ研究家、NSPA理事、フォーラム専門委員)
- ②プレゼンテーション 2 「増富温泉の自然体験プログラムからの研究報告」  
小山芳久(塚原緑地研究所研究員、増富の湯支配人、ネイチャーガイド)

15:30-16:00 質疑応答 終了

## ■プレゼンテーションの内容

健康と温泉フォーラム温泉ウエルネス研究委員会は、令和2年に山梨県北杜市増富温泉とその周辺の瑞牆山など秩父多摩甲斐国立公園の自然豊かな環境を活用して、温泉保養の身体的機能の回復と心理的な機能の蘇生をどのようにデータ化できるか検証するため、10月、11月、12月の計3回、前記温泉地でモニター実験を実施しました。全国的にその効能で有名な増富温泉郷のラジウム温泉浴と森林浴、漢方医監修の食事、専門的なアロマセラピーなどハイブリッド・プログラムを通して、可能な限りのオーガニック(有機的な)な環境を、一定期間(2泊3日)参加者に提供することで、都会生活者である治験者の微妙な心身の変容を捉えることができました。比較的低温の増富温泉の源泉に、体温に近い不感温度帯の温泉を選択し、比較的長時間入浴することによって得られる副交感神経による睡眠に近いレム状態はその緊張の弛緩によるリラックス&デドックス効果を高めることが数値的に認められました。又、早朝の目覚めの気功・体操や軽い林道のトラッキング、瀬音をBGMに川原での自然岩を立てるロックバランシングなど都会では味わうことの出来ない心身バランスの調整や自然環境との一体感など、交感神経のやさしい蘇生を体験した治験者のコメントは大変貴重なデータとなりました。モニター集計・分析による総合評価も終わりましたので、新型コロナ禍で厳しい環境の中で得たこの貴重な成果を公表し、全国の温泉地のポストコロナ時代に向けた、貴重な資料として活用できることを期待しています。





返信先 E-mail : [info@onsen-forum.jp](mailto:info@onsen-forum.jp)

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書 (各□に✓をお願いします)

**必要事項ご記入の上、上記アドレスにe-mailで返信をお願いします。受付後、  
ONLINE参加に必要な情報と注意事項など参加要領をお送りいたします。**

□ 第98回月例研究会(ONLINE) (2021年4月22日 (木)) に参加します。

●お名前 (複数可)

・

・

●所属会員

□ 健康と温泉フォーラム

□ 地域活性学会

□ 日本スパ振興協会

□ 日本健康開発財団

□ 温泉療法医会

□ チーム新・湯治 (環境省)

□ 日本温泉気候物理医学会

□ その他

●団体・組織名

●住所 〒

●連絡先 TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ 携帯☎ \_\_\_\_\_

E-mail : \_\_\_\_\_ (メールアドレスは必ずご記入ください)

●お問い合わせ 特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム

FAX 03-6804-8575

E-mail [info@onsen-forum.jp](mailto:info@onsen-forum.jp) 又は

[sumitogoda@gmail.com](mailto:sumitogoda@gmail.com)

